

今 そこにある 危機

町中心部でも近年都市化や宅地造成などによって水路への水の流入量が年々増加しつつあり、家屋への浸水などの被害が懸念されている。台風の時季には、その進路によっては驚くべき

町中心部でも近年都市化や宅地造成などによって水路への水の流入量が年々増加しつつあり、家屋への浸水などの被害が懸念されている。台風の時季には、その進路によっては驚くべき

町中心部でも近年都市化や宅地造成などによって水路への水の流入量が年々増加しつつあり、家屋への浸水などの被害が懸念されている。台風の時季には、その進路によっては驚くべき

町中心部でも近年都市化や宅地造成などによって水路への水の流入量が年々増加しつつあり、家屋への浸水などの被害が懸念されている。台風の時季には、その進路によっては驚くべき

町中心部でも近年都市化や宅地造成などによって水路への水の流入量が年々増加しつつあり、家屋への浸水などの被害が懸念されている。台風の時季には、その進路によっては驚くべき

大津町、その地域の特徴

関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」と制定され、全国で防災訓練などの活動が行われている。地震がいつ発生するかはだれにも分からない。しかも災害は地震だけではなく、水害や台風による被害もある。天災は忘れたころにやってくる—この時期に防災とは何なのかを考えてみよう。そこから意外なつながりが見えてくるかも知れない。そして、わたしたちにできることは何があるのだろうか—



関東大震災による倒壊写真がれきと化した建物からは、地震と自然の恐怖が伝わってくる

今 そこにある 危機

防災の日記念 特別企画

Clear and present danger

死者・行方不明者は10万人以上。大正12年9月1日午前11時58分、関東域を襲ったマグニチュード7.9の大地震は後に「関東大震災」と言われ、日本の災害で史上最大級の被害を与えた。屋時の地震だったため火災も多く発生し、焼失した家屋も40万戸以上、日本の防災意識を高めることになった大災害である—

昭和55年8月30日
上井手決壊による水害
写真は旧国道57号の現九州電力付近
(午前5時30分撮影)

